

平成 28 年度

生活支援体制整備研究会がはじまりました



平成二十六年の介護保険制度改正にともない、嘉手納町社協では町からの委託を受け「生活支援体制整備事業」を実施しています。この事業は、元気な高齢者はもちろん、支援や介護が必要になっても自分らしく地域の中で暮らし続けられるよう、社会参加ができる地域をつくることを目的としています。

今年度、嘉手納町では生活支援体制整備研究会として始動、アドバイザーとして日本社会事業大学の菱沼先生をお招きし、これまで三回の研究会を終えました。制度についての勉強会や地域の宝物さがし（社会資源の把握）・調査・視察研修と一歩一歩着実に、さらなる支え合いの地域づくりへ向けて前進しています。

これまでの研究会を次の研究会へ、そして地域へ繋げていけるよう皆さんと共に歩んでいけたらと思っています。

研究会しんぶん

第1号

〈発行者〉

嘉手納町社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

比嘉



池田理事長

元気で長生きな人に共通する生活習慣

決め手は

「**きょういく**」と「**きょうよう**」です!!

↓

「今日、**行く**ところがある」「今日、**用**がある」



勉強会に
行ってきました

平成二十九年一月二十七日に、沖縄市商工会議所にて「生活支援コーディネーター養成研修」があり、事務局四名と研究会委員から二名で参加してきました。この勉強会は、沖縄県が主催し宮城県にあるCLC（全国コミュニティライフサポートセンター）から池田理事長がお越しになり、この事業の概要など、事例を交えながら楽しく勉強できました。今回は残念ながら研究会の皆さん全員と一緒する事はできませんでしたが、またこのような機会がありましたら全員へお声かけし、参加できたらと思っています。

有志による寸劇も♪

「ハイリヨする町」

「ハイジヨする町」





いざ、国頭へ!

— 生活支援コーディネーター勉強会 —

二月三日、今年度二回目となる「生活支援コーディネーター勉強会」へ行ってきました。昨年の十二月から始まったこの勉強会は県内の生活支援コーディネーターが集まり、情報交換や取り組み状況の確認などを行っております。今回の勉強会は国頭村にCLCの木村さんの地域取材にあわせて勉強会が行われました。

勉強会には県内九市町村より約二十名の参加があり、前半は木村さんが国頭村での取材報告を、後半は意見交換会でした。地域で活動するためのノウハウや他市町村の取り組みの確認、今後につながる学びを得ることができました。

今回の学びを活かし、今後も活動していきたいと思えます!!



かでなの宝もの ちょこっと紹介☆

中央区 「買い物お助けマン」

毎月1回、中央区自治会の主催で買い物支援「買い物お助けマン」が開催されています。自治会に集合し、その日の参加者の皆さんと福祉バスに乗っていきます。楽しくお買い物の後は、それぞれのお家へ寄って帰ります。参加者は「毎月、ゆんたくしながら買い物を楽しんでいます。とってもありがたいです。」と笑顔。自治会長の優しさあふれる素晴らしい取り組みです。

平成二十八年十一月



編集後記

皆さま、こんにちは。研究会しんぶんを手にとっていただきありがとうございます。なんとか、無事に記念すべき第1号を発行することができました。これから、研究会の様子や地域の宝ものなどをどんどん発信していこうと思っております。もしかしら、取材で皆さまの元へ伺うかもしれません。そのときはどうぞよろしくお願います♪



生活支援コーディネーター
比嘉 舞(ひが まいか)です!
よろしくお願いいたします。

比嘉